



共 育

集中力を高めよう

大型連休が終わり、子どもたちは元気に登校し、授業や活動に意欲的に取り組んでいます。5月7日（金）に、全校集会の後、企画運営委員が中心となり、縦割り班に分かれて折り紙で『かぶと』を折る児童集会を行いました。高学年のリーダーシップの下、楽しく、集中して折り紙を折っていました。



子どもが集中できる時間は、幼児の場合、約「年齢+1分」と言われています。小学校低学年で約15分、高学年から中学生で約30分。大人でも、集中できる時間は50～90分と言われています。意外に短い時間と思うかもしれませんが、個人差はありますが、大人でも60分程度しか集中力が続かないと言われています。



折り紙は、手先を動かす作業を通して集中力が養われます。また、折り方を理解したり覚えたりするときに脳が活性化するので、理解力や記憶力を高める効果もあります。紙風船や鶴など定番の折り方や、親子で少し難しい折り紙飾りに挑戦してみると、楽しく集中力を高めることができます。さらに、ジグソーパズルやボードゲームも集中力アップに効果があるそうです。

子どもの集中力は一朝一夕で高められるものではありませんが、普段の生活に集中力アップを助ける遊びやゲームを取り入れて、楽しみながら子どもの力を高めることを実践してください。

基本的な感染症対策の徹底を

石川県及び羽咋市において、新型コロナウイルスの感染が広がっています。そして、児童生徒にも感染者が出ています。

学校では、「3つの密の回避」「マスクの着用」「手洗い・消毒」「換気」などの基本的な感染症対策の徹底及び児童への指導を行っています。

保護者の皆さんは、児童の体調管理に気をつけ、不要不急の外出は控えるなど、人との接触機会の低減に努めてください。よろしくお願いします。

なお、文部科学省のホームページの「新型コロナウイルスの感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」をご覧ください。